

## 入院中の面会は予約制です！

新型コロナウイルス感染症対策のため、当院では入院中のご家族への面会について制限を設けています。面会には事前に予約が必要です。平日の午後2時～午後4時の間に電話ください。

- 面会可能な日時：月・木・土・日 午後2時～午後4時  
(面会は1回／週、面会時間は15分以内です。面会者はご家族2人までです。)
- 面会における注意事項
  - ・ 面会前には必ず病院スタッフにお声かけください。
  - ・ 面会前に必ず検温と症状確認を行い、面会台帳に記入してください。
  - ・ 不織布マスクを着用してください。
  - ・ 面会前後に、手指消毒を行ってください。
  - ・ 面会時は、1～2m離れてください。
  - ・ 面会中の飲食はできません。

! 7日以内に下記に該当する項目がある方はご面会できません！

- コロナやインフルエンザ等の流行性感染症に罹患している方
- 発熱(37.5°C以上)、咳、倦怠感、下痢などの症状がある方
- ご家族や職場・学校など身近にコロナやインフルエンザ等の流行性感染症の罹患者や上記の有症状者がいる方
- 新型コロナやインフルエンザ等に罹患した人と接触した方
- 症状があり、コロナやインフルエンザ等の検査を受けた方

新型コロナウイルス感染症の流行状況により、「面会禁止」となる場合があります。

## ★ アクセス ★



### 鹿児島県立北薩病院

〒895-2526

鹿児島県伊佐市大口宮人502-4

TEL: 0995-22-8511

FAX: 0995-22-6785

0995-22-9397(地域医療連携室)

Mail: hok-hos@pref.kagoshima.lg.jp

※ 受診について、小児科以外は原則予約制となっています。待ち時間短縮のため、電話での予約をお願いします。  
○電話予約: 午後2～5時まで

3月号  
No.221

## さざんか ～県立北薩病院だより～

### ○ 睡眠時無呼吸症候群 (SAS) とは

睡眠時無呼吸症候群とは、主に睡眠中に空気の通り道である“上気道”が狭くなることによって無呼吸状態（10秒以上呼吸が止まること）と大きないびきを繰り返す病気のことです。成人男性の3～7%，成人女性の2～5%程度に見られる比較的頻度の高い病気ですが、睡眠中の無呼吸やいびきによって良質な睡眠が妨げられ、日中の眠気による事故などにつながりやすいことが分かっています。また、睡眠中に体内の酸素量が不足しがちになることで全身のさまざまな部位に負担をかけ、**心筋梗塞**や**脳卒中**など命に関わる合併症を引き起こしやすくなることも分かっています。

しかし、治療方法が確立されていますので、怖い病気ではありません。適切に検査・治療を行いましょう。



### ○ SASがあると…

高血圧約2倍

心疾患約3倍

脳血管障害約4倍

糖尿病約1.5倍

多血症、肺高血圧、不整脈

高血圧の患者さんは要注意！

実は多い、  
日本人のSAS合併

SAS合併10%

日本人の高血圧  
90% (推定4,000万人)

### ○ どんな検査をすればわかりますか

1泊の検査入院で、睡眠中の脳波や心電図、呼吸状態、血中酸素濃度等を検査し、**睡眠1時間あたりの無呼吸、低呼吸の回数 (AHI)**を調べます。

当院では、令和5年3月に最新機器を導入しました。

検査日は、毎週火曜日と木曜日です。

検査入院については、0995-22-8511  
呼吸器内科または循環器内科へ  
事前予約をお願いします。





## 認定看護師の紹介



当院には、4分野の認定看護師が在籍しています。  
今回は、「がん化学療法看護」認定看護師について紹介します。

### ○ がん化学療法看護認定看護師とは？

日本人の2人に1人が一生の間にがんに罹患すると言われています。  
最近の「がん治療」は、治療薬や治療方法が次々と開発され、進歩が大きく、複雑化してきています。  
がん化学療法看護認定看護師は、がん患者さんやご家族に対して、治療選択の意思決定支援やがん化学療法を受ける患者さんが、安心して安全に治療を受けることができるようお手伝いする役割があります。



### ○ がん化学療法看護認定看護師 蒲牟田 ゆり

わたしは、抗がん剤治療に携わる中で、患者さんの意思決定に医療者の関わりが大きく影響することを感じるようになりました。患者さん・ご家族に必要な情報を提供し、患者さん・ご家族の意思に添った医療や看護を提供できるように、私自身が知識を得なければならぬと思い認定看護師を目指しました。現在は地域医療連携室に所属し、抗がん剤を受けられる患者さんが安心して安全に治療を受けることができるよう、投与時の方法やシステムの見直しを行ったり、スタッフ指導を行っています。患者相談窓口やがん相談支援センター窓口の対応も致しております。治療に対しての不安や疑問を少しでも減らすことが出来るように、一人ひとりの問題解決に向けて一緒に考えていきたいと思っています。



### ○ がん化学療法看護認定看護師の主な役割

#### ・ 実践

患者さんとそのご家族が、安心・安全にがん化学療法を継続できるように副作用に関する指導や治療の継続に伴う不安や疑問への支援を行います。

#### ・ 指導

がん治療法は日々進歩しており、次々に新しい薬剤が導入されています。看護スタッフが治療の特徴や副作用を予防する方法などを理解し、抗がん剤の安全・確実な投与管理が行えるよう研修会を実施し、がん化学療法看護の質向上、患者ケアの充実に繋げていきます。

#### ・ 相談

院内外の医療スタッフからがん化学療法に関する相談を受け、課題解決に向けて一緒に取り組んで行きます。



### ○ がん相談支援センター

当院では、地域の皆様のがんについてのご相談をお受けするため、「がん相談支援センター」を開設しています。

がんについての疑問やご心配などの相談をお受けしております。

#### ★ 例えは…

- ・ がんではないかと気になるけれど、どこで検査したらよいのだろう？
- ・ 今受けている治療の他に治療法はないの？
- ・ 家族はどんなことをしてあげたらいいのだろう？
- ・ がんの痛みを和らげるケア(緩和ケア)を受けたいのだけれど
- ・ セカンドオピニオンをしてくれる病院はどこにあるの？

など。

当院の患者さんやご家族以外の方も対象になります。  
どなたでもお気軽にご相談ください。

ご利用方法：電話での予約をお願いします。

(直接来院でも構いませんが、予約いただいた方が確実です。)

ご来院の際は総合受付にお話しください。

TEL：0995-22-8511（内線510）がん相談 支援センター

相談日：月曜日～金曜日(祝祭日は除く)

受付時間：午前8時30分～正午および午後1時～午後4時

相談料：無料